

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
臨床総合柔道整復学1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
柔道整復学科・昼間部	1年	前期	科目担当:奥田 久幸/嶋田 佳典/黄海 匡士 /住吉 泰之/土岐 亮介/【主】森下 友雄/横山 靖 50音順 特別講師:小川 進/藤原 良次 50音順				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	15	
科目概要							
この科目では、これまでの学びと臨床現場での実際を結び付け、柔道整復師の技能を体感し、今後より深い学びへと導く大切な一歩となります。							
目標							
<b>一般目標 (GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標		この科目の目標は、これまでの学びで得た基礎知識を改めて確認し、臨床現場でどのように役立つのかを実感しながら、その大切さや重要性を認識することです。また、運動器エコーでは、今後の柔道整復師に求められる知識と技能の基礎を学びます。					
<b>到達目標 (SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		以下の内容ができるようになること。 ①外傷の初期処置(アイシング・捻挫・肉ばなれ等) ②競技者等へのトレーニング ③骨折の初期処置 ④柔道整復術に関わる総演習(複数の選択肢の中から正しい答えを選択できる) ⑤臨床現場でのケアコミュニケーション ⑥競技者の外傷予防 ⑦運動器エコーの観察オンス(尺、肩関節等の取巻など)					
履修に必要な予備知識や技能							
これまでに学んだ解剖学、生理学、柔道整復学。							
教科書・参考書							
受講上の注意							
各授業において、教員の指示のもと準備・後片付けも含めて積極的姿勢で協力すること。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)				90		10	0
その他10%について「臨床現場でのケアコミュニケーション」において、講義終了後に各自の「気づき」をまとめ、提出したもので評価する。評価のポイントは講義内にて伝える。							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	外傷の初期処置①				白衣・スリッパ・筆記用具等		
第2回	外傷の初期処置②				同上		
第3回	トレーニングの実際①				白衣・スリッパ・筆記用具等		
第4回	トレーニングの実際②				同上		
第5回	骨折の初期処置と後療法①				白衣・スリッパ・筆記用具等		
第6回	骨折の初期処置と後療法②				同上		
第7回	柔道整復術に関わる総演習				筆記用具		
第8回	臨床現場でのケアコミュニケーション				筆記用具		
第9回	競技者の外傷予防				白衣・スリッパ・筆記用具等		
第10回	トレーニングの実際③				白衣・スリッパ・筆記用具等		
第11回	トレーニングの実際④				同上		
第12回	骨折の初期処置と後療法③				白衣・スリッパ・筆記用具等		
第13回	運動器エコーについて①(基礎知識/オンデマンド)						
第14回	運動器エコーについて②				白衣・スリッパ・筆記用具等		
第15回	運動器エコーについて③				同上		
実務経験と本講義との関連について							
各講義において、担当教員より直接説明する。							
メールアドレス							
morishita@nihonisen.ac.jp							